

第71期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

1P 株主の皆様へ

3P 財務の概況

5P 会社情報
株式の状況

6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社兵殖
独自の配合飼料で育てた 養殖クロマグロの
新ブランド「豊後まぐろ ヨコゾーナ」を発表！



OUGホールディングス株式会社



代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第71期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成28年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産、個人消費の回復は鈍く、景気の回復には足踏みがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、設備投資は総じて堅調であり、緩やかな回復基調にありました。消費者心理は日常品を中心に節約志向が依然として続き、足踏みがみられます。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は国際競争の激化などにより、調達コストが高水準で推移し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,539億90百万円（前年同四半期比98.3%）となりました。損益面では、売上総利益は113億65百万円（前年同四半期比104.5%）となり、営業利益7億36百万円（前年同四半期比173.7%）となりましたが、営業外費用に新基幹システムに係る無形固定資産償却費3億62百万円を計上し、経常利益4億69百万円（前年同四半期比85.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億77百万円（前年同四半期比91.5%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は上昇したものの取扱数量の減少により売上高982億98百万円（前年同四半期比98.9%）となりましたが、間接経費全般の節減に努めセグメント利益6億42百万円（前年同四半期比102.4%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量の減少、販売単価の低下により売上高560億56百万円(前年同四半期比98.4%)、売上総利益率は改善しましたが販売費及び一般管理費の増加によりセグメント損失64百万円(前年同四半期はセグメント損失3億96百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高34億83百万円(前年同四半期比113.4%)となりましたが、売上総利益率の低下などによりセグメント利益51百万円(前年同四半期比32.9%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、新規取引先開拓により販売拡大を図り売上高26億51百万円(前年同四半期比114.7%)となり、原材料価格の上昇などによりセグメント損失17百万円(前年同四半期はセグメント損失82百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の増加などにより売上高10億69百万円(前年同四半期比105.2%)、セグメント損失9百万円(前年同四半期はセグメント損失35百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高26億94百万円(前年同四半期比103.4%)、セグメント利益58百万円(前年同四半期比111.3%)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内景気はもたつきがみられるものの、緩やかな回復基調にあると予想されますが、海外経済や外国為替相場の動向など先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、海外調達競争や国内販売競争が激化するなか、消費者の日常消費に対する節約志向は継続するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、グループ経営基盤の強化を図り業績の向上に努めてまいります。

通期の連結業績につきましては、平成29年3月期売上高3,300億円、営業利益19億円、経常利益18億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億円を見込んでいます。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		55,039	57,803	49,178
現金及び預金		2,099	1,965	2,607
受取手形及び売掛金		28,250	28,677	26,385
商品及び製品		23,409	25,505	18,904
仕掛品		0	0	0
原材料及び貯蔵品		339	330	327
その他		1,123	1,539	1,130
貸倒引当金		△ 181	△ 214	△ 176
固定資産		21,806	23,383	21,729
有形固定資産		11,065	11,425	11,131
無形固定資産		3,237	3,950	3,612
投資その他の資産		7,503	8,006	6,985
投資有価証券		6,251	6,363	5,936
その他		1,821	2,280	1,689
貸倒引当金		△ 569	△ 637	△ 640
資産合計		76,845	81,187	70,907

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		51,455	51,989	45,618
支払手形及び買掛金		21,914	22,918	18,171
短期借入金		20,050	22,800	16,750
1年内返済予定の長期借入金		4,744	1,616	4,856
未払法人税等		307	343	1,171
賞与引当金		637	614	668
その他		3,801	3,695	3,999
固定負債		6,910	10,806	7,065
長期借入金		2,670	5,881	2,629
退職給付に係る負債		2,669	2,182	2,700
役員退職慰労引当金		110	102	114
その他		1,459	2,640	1,620
負債合計		58,366	62,796	52,683

純資産の部				
株主資本		17,710	16,925	17,747
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090	6,090
利益剰余金		5,225	4,474	5,281
自己株式		△ 101	△ 135	△ 120
その他の包括利益累計額		769	1,465	476
その他有価証券評価差額金		1,577	1,508	1,365
繰延ヘッジ損益		△ 20	△ 2	△ 26
土地再評価差額金		△ 357	△ 372	△ 357
退職給付に係る調整累計額		△ 430	331	△ 504
純資産合計		18,479	18,390	18,224
負債純資産合計		76,845	81,187	70,907

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高		153,990	156,614	327,273
売上原価		142,624	145,737	304,045
売上総利益		11,365	10,877	23,228
販売費及び一般管理費		10,629	10,453	21,252
営業利益		736	423	1,975
営業外収益		221	279	628
受取利息		0	0	1
受取配当金		83	86	125
補助金収入		44	77	242
その他		92	115	259
営業外費用		488	156	680
支払利息		115	141	278
無形固定資産償却費		362	—	362
その他		11	15	40
経常利益		469	547	1,923
特別利益		12	153	308
投資有価証券売却益		12	153	308
特別損失		24	19	116
固定資産売却損		24	—	—
投資有価証券評価損		—	19	19
減損損失		—	—	97
税金等調整前四半期(当期)純利益		457	681	2,114
法人税、住民税及び事業税		317	370	1,187
過年度法人税等		—	—	233
法人税等調整額		△ 137	7	△ 416
法人税等合計		180	378	1,004
四半期(当期)純利益		277	303	1,110
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		277	303	1,110

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,594	△ 2,957	3,815
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 546	△ 443	△ 270
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		2,632	3,211	△ 3,093
IV. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 508	△ 189	452
V. 現金及び現金同等物の期首残高		2,602	2,049	2,049
VI. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	100	100
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		2,094	1,961	2,602

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月1日)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 連結 1,332名 単独 34名

役員 の 体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	勝田昇
	取締役	角田晴夫
	取締役	三浦正晴 (社外取締役)
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)
執行役員	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	岡田雅之

株式の状況

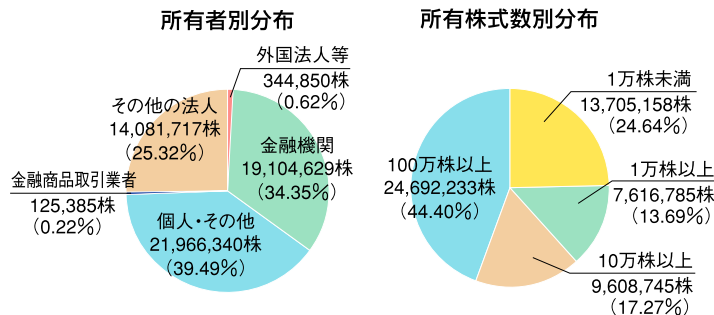
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	11,037名

大株主(上位10名)

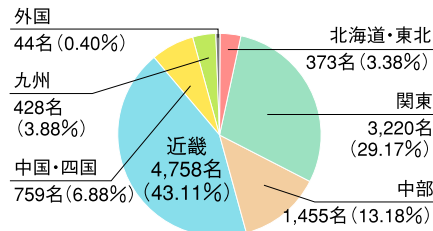
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	7,450	13.42
日本生命保険相互会社	2,650	4.77
農林中央金庫	2,636	4.75
株式会社 みずほ銀行	2,000	3.60
株式会社りそな銀行	1,842	3.32
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,519	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,150	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	1,150	2.07
丸大食品株式会社	1,150	2.07
OUGグループ従業員持株会	1,140	2.05

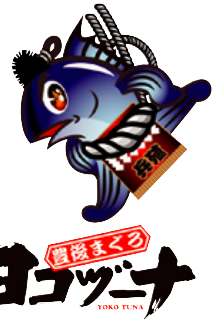
(注) 持株比率は、自己株式(87,273株)を控除して計算しております。
 なお、従業員持株ESOP信託として保有する当社株式(450,000株)は、当該自己株式には含めておりません。

株式分布



地域別株主分布





独自の配合飼料で育てた

養殖クロマグロの新ブランド「豊後まぐろ ヨコゾーナ」を発表！

OUGグループの養殖事業会社である株式会社兵殖は、九州・四国でブリ、ハマチ、マグロの養殖事業を展開する国内最大規模の養殖会社です。

同社は、平成20年度よりクロマグロの養殖を本格化し今日に至っていますが、本年9月に大分県津久見沖、豊後水道で養殖したクロマグロを新ブランド「豊後まぐろ ヨコゾーナ」として販売していくことを発表しました。

「豊後まぐろ ヨコゾーナ」の最大のメリットは、稚魚から成魚まで、生エサを一切使用せず、同社が飼料メーカーと共同で開発した専用の配合飼料のみで育成する点にあります。

専用の配合飼料のみで育成することにより、漁場環境や魚体の成育状態に合わせて最適な栄養管理を行うことが可能となり、1年を通じて安定した高品質のクロマグロを育成することができます。

また、配合飼料は環境に優しく、清浄な海域を維持できるメリットもあります。

生産面では、潮流が速く、水域の寒暖差が大きい漁場でじっくりと育成することにより、身の引き締まった上質な赤身と木目細やかな脂身(トロ)を併せ持つ美味しいマグロを生産しています。

「豊後まぐろ ヨコゾーナ」は、現在、大分県内で販売していますが、今後は、全国展開も視野に入れ販売していきたいと考えています。

今後とも、同社は、お客様に安全・安心はもとより、高鮮度・高品質な養殖魚をお届けするとともに、OUGグループの養殖事業会社として、食文化の発展に貢献してまいります。



-3℃のシャーベット水で冷やし出荷



上質の赤身と極上の大トロ



5年育成し、60kgの出荷サイズに

会社概要

株式会社 兵 殖
代表取締役社長 角田 晴夫
住所：〒879-2412 大分県津久見市高洲町3824-71
TEL：0972-82-8200
従業員数：137名
売上高：84.5億円(平成28年3月期)
事業所：宮崎事業所、津久見事業所、長崎事業所、宿毛事業所

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（特別口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)
- <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

TOP PAGE



COMPANY PROFILE



GROUP

グループ会社について
動画等で紹介しております。



IR情報



株主優待を
画像等で紹介
しております。

<http://www.oug.co.jp>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>